

2021 年度

講義科目名称： 日本文学

授業コード： 25006

英文科目名称： ---

開講期間	授業形態	単位数	科目必選区分
前期	講義	2単位	
曜日時限			
前期： 火曜5限			
配当学科・学年			
文1、教育1、人間1			
担当教員			
鈴木 利一			
添付ファイル			

授業テーマ	古代の神話・説話・物語を学ぶ。
講義概要	この講義で扱う日本文学とは、古代日本の神話や説話のことです。『古事記』、『日本書紀』、『風土記』、『日本霊異記』等に記録される神話や説話から、昔話や現代文学にも通じる要素を読み取り、古代文学の基層世界を展望します。これらの作品には、神話や説話の形を取りながらも当時の人々の暮らしの様子や世界観が生き生きと描写されています。こうした古代の文学作品を読み進めていく中で、古代日本社会とその文化への新たなイメージを獲得しましょう。そして、古典文学から得られる感動の世界に親しんでみましょう。  緊急事態宣言発令中は、オンライン講義の形態を取取ることもありますので、tani-WAを通じた連絡に注意してください。
到達目標	上代日本文学作品を、原典を通して鑑賞できる力を習得する。
評価方法	①期末の課題レポート(50%)に加えて、②講義中、またはtani-WA(学習支援システム)を用いて随時小テスト(30%)を行うので、その提出状況と日常の学習姿勢等(20%)によって総合的に評価する。
フィードバックの方法	期末課題レポートについては、最終講義での回収完了後に模範解答例を解説する。小テストについては、次回講義で解説する。また、tani-WA(学習支援システム)内のコースコンテンツにも解説資料を提示する。
評価基準	①期末に提示する課題(基礎知識を問う設問と講義中における知見を論述する設問からなる)に対して60点以上の解答を作成できることをひとまずの合格条件とする。 これに②講義中、または、tani-WA(学習支援システム)を用いて随時行う小テストの結果及び平常の学習姿勢を勘案して総合的に判定する。 評価点の判定基準は以下の通り。 1. ①、②が最低の合格基準に到達している場合、及び下記の「履修上の注意」に触れるような行為がなかった場合「可」とする。 2. これに加えて①が70点に達している場合、及び②の小テストの解答レベルがより高く平均的な受講姿勢である場合「良」。 3. 同じく①が80点に達している場合、及び②の小テストの解答レベルがさらにより高く優れた受講姿勢である場合「優」。 4. 同じく①が90点以上に達している場合、及び②の小テストの解答レベルが極めて高く他の模範となる受講姿勢である場合「秀」。
テキスト	講義中にプリントを配布する。また、tani-WA(学習支援システム)内のコースコンテンツに資料を提示する。
参考書	講義中、または、tani-WA(学習支援システム)を用いて随時紹介する。
履修上の注意	学習環境の維持は、教員一人の責任ではなく学生の皆さんとの共同作業です。受講に際しては真摯な姿勢で臨むこと。音を発する可能性のある電子機器類は電源を切る。スマートフォン、携帯電話の使用は厳禁とします。また、他者にとって迷惑になり学習妨害ともなる私語、受講放棄にあたる行為(内職・居眠り、途中無断退出等)については、厳しく対応します。教員としては、授業の流れや教室の雰囲気や壊したくないために、学生への注意は最小限に留めたいと考えていますが、問題と考えられる場合には当該行為者に対して個別に厳しく注意します。 講義に関する連絡は、講義時間中もしくはtani-WA(学習支援システム)を用いて行います。必ずリマインダ受信設定を行い、システムからのメールの確認を怠らないようにしてください。
準備学習<予習・復習の時間・内容>	『古事記』や日本神話、古代説話に関する注釈書・研究書等を講義中に紹介していきます。また、講義の性格上、神社、仏閣、史蹟等の話題が多くなります。同じ理由で旧暦に由来する年中行事や祭礼等に関する知識も必要になります。そうした古典文学に関連する周辺事項の解説書や参考書等の紹介も行いますので、講義前後に各自で参照し要点事項はノート化しておくようにしてください。時間配分は他の講義との兼ね合わせがあるので各自の配分に任せますが、目安としては前後に各2時間、全15回の講義に対して60時間以上となるように調整してください。
オフィスアワー等	オフィスアワーは毎週木曜日4限。出来ることなら学内メール等で事前に連絡してください。 質問や各種相談等については、講義時やオフィスアワーに対応しますが、事前連絡者を優先します。
備考・メッセージ	
ディプロマポリシー	日文：DP1、歴史文：DP1、幼教：DP1、学教：DP1、特支：DP1、人社：DP1、スポ：DP1
科目ナンバリング	日文：LA-E-HU1008、歴史文：LA-E-HU1008、幼教：LA-E-HU1008、学教：LA-E-HU1008、特支：LA-E-HU1008、人社：LA-E-HU1117、スポ：LA-E-HU1108

授業計画						
回数	授業形態	担当教員	授業内容	到達目標		
1	講義	鈴木利一	日本神話の世界① オノゴロジマと国生み神話	当日の講義内容に関して理解し説明できる。		
2	講義	鈴木利一	日本神話の世界② イザナキの黄泉国訪問	当日の講義内容に関して理解し説明できる。		
3	講義	鈴木利一	日本神話の世界③ 三貴子誕生・スサノヲの乱暴狼藉	当日の講義内容に関して理解し説明できる。		
4	講義	鈴木利一	日本神話の世界④ 天岩屋戸神話	当日の講義内容に関して理解し説明できる。		
5	講義	鈴木利一	日本神話の世界⑤ 流浪するスサノヲ神	当日の講義内容に関して理解し説明できる。		
6	講義	鈴木利一	日本神話の世界⑥ 因幡の白ウサギ	当日の講義内容に関して理解し説明できる。		
7	講義	鈴木利一	日本神話の世界⑦ 大国主神の受難	当日の講義内容に関して理解し説明できる。		
8	講義	鈴木利一	日本神話の世界⑧ 天孫降臨から海幸山幸神話へ	当日の講義内容に関して理解し説明できる。		
9	講義	鈴木利一	日本神話の世界⑨ 神武東征	当日の講義内容に関して理解し説明できる。		
10	講義	鈴木利一	日本神話の世界⑩ 三輪山神話と箸墓伝承	当日の講義内容に関して理解し説明できる。		
11	講義	鈴木利一	日本神話の世界⑪ ヤマトタケル	当日の講義内容に関して理解し説明できる。		
12	講義	鈴木利一	日本神話の世界⑫ ヤマトタケルの死	当日の講義内容に関して理解し説明できる。		
13	講義	鈴木利一	風土記説話の世界 蘇民将来と祇園信仰	当日の講義内容に関して理解し説明できる。		
14	講義	鈴木利一	日本霊異記の世界① 異類婚姻と始祖伝承	当日の講義内容に関して理解し説明できる。		
15	講義	鈴木利一	日本霊異記の世界② 放生会と動物報恩譚	当日の講義内容に関して理解し説明できる。		

授業方法					
	学習方法	場所	教員数(補助者数)	教科書以外の教材など	時間(分)
	講義	教室	1	必要に応じて資料プリントを配布する。	90分×15回